

科目コード	N117
授業科目名	感染症学
授業科目名(英文)	Infectious Diseases
講義室等	6107
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学年	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	齋藤 光正
授業の概要	感染症学では、病原微生物の性質や生態、感染を引き起こすしくみを理解することによって、感染症予防あるいは制御のための理論と方法を学ぶ。臨床の場では感染症の診断や治療、そして易感染患者に対する感染防止対策などの総合的看護活動が求められている。また、地域社会や職場環境を対象とした保健・衛生活動においては、感染症の拡大予防策など、看護技術者の担う役割は広範かつ重大である。こうした行動を適切に、そして積極的に進めるための微生物学ならびに感染症学の基礎知識を修得できるようになる。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 感染症の発生要因につき、その概要を説明することができる。 2. 主要な病原微生物につき、その感染経路、病原性、予防を説明することができる。 3. 宿主側の感染防御因子を列挙し、それを説明することができる。 4. 消毒や滅菌、無菌操作の意味、その目的を説明することができる。 5. 消毒や滅菌の具体的方法を理解し、それを感染防止に向けて適切に応用することができる。
予習復習の所要時間	講義時間32時間(2時間×1コマ×16回)+予習・復習13時間
成績評価方法	提出物の提出状況とその内容(10%)、筆記試験の成績(90%)で60点以上を合格とする。
教科書	南嶋洋一、吉田真一、永淵正法、齋藤光正、大野真治 著：「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学」第13版、2018年(医学書院) ISBN:978-4260031837
参考書	富家恵美子 著：「院内感染」(河出書房新社)(既蔵書) ISBN:978-4309006086 齋藤光正 著：「イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ」第2版、2021年発刊予定(南山堂)
その他	正しい知識、エビデンスに基づいた「恐れすぎず、あなどらず」の感染制御を修得する。

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4.10.4	火	II	微生物とはどのような生物か(細菌、真菌、原虫、ウイルス、プリオン)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第1章～4章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
2	R4.10.11	火	II	感染とはなにか(感染源、感染経路、感染の機構)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第5章、第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
3	R4.10.18	火	II	予防とコントロールⅠ(滅菌と消毒)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第7章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
4	R4.10.25	火	II	予防とコントロールⅡ(検査と診断、治療、現状と対策)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第8章～10章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
5	R4.11.8	火	II	免疫Ⅰ(免疫担当細胞)	講義	吉田 安宏	1	
				予習 教科書第6章を読んでおくこと。				
				復習 講義プリントを復習する。				
6	R4.11.15	火	II	免疫Ⅱ(感染防御、アレルギー)	講義	吉田 安宏	1	
				予習 教科書第6章を読んでおくこと。				
				復習 講義プリントを復習する。				
7	R4.11.22	火	II	実習Ⅰ(手指、鼻腔の細菌検査)、院内感染と感染予防対策	講義・実習	小川 みどり	2	
				予習 教科書第10章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
8	R4.11.29	火	II	実習Ⅱ(手指、鼻腔の細菌検査の結果判定)	講義・実習	小川 みどり	2	
				予習 なし				
				復習 レポートの作成				
9	R4.12.13	火	II	細菌Ⅰ(グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第11章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				
10	R4.12.20	火	II	細菌Ⅱ(グラム陰性通性桿菌、らせん菌、グラム陽性桿菌、抗酸菌)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第11章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを 解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを 復習する。				

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
11	R5.1.10	火	II	細菌Ⅲ (嫌気性菌、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第11章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
12	R5.1.17	火	II	ウイルスⅠ (DNAウイルス)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第12章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
13	R5.1.24	火	II	ウイルスⅡ (RNAウイルス)	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第12章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
14	R5.1.24	火	III	ウイルスⅢ (臨床的分類、プリオン)、真菌	講義	齋藤 光正	1	
				予習 教科書第12章、第13章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
15	R5.1.31	火	II	まとめ	講義	齋藤 光正	1	
				予習 なし				
				復習 講義プリントを復習する。				
16	R5.1.31	火	III	寄生蠕虫、原虫	講義	清水 少一	1	
				予習 教科書「付章」を読んでおくこと。				
				復習 講義プリントを復習する。				